

平成25年度予算の

編成について

下村 宏 議員

質問 村の基幹的歳入である村税の約50%を占める固定資産税調定額が、地価の下落等により、毎年減少しており、更に市町村民税(法人・個人)も同様に減少しています。この状況下で、平成25年度の予算編成は、どのような方針・考え方で臨んだのかお伺いします。

事業の精査・見直し・合理化・効率化を指示しました。また、事務事業を、継続・廃止・修正・統合等約10項目に振り分け、事務改善に努めていきます。

質問 また、予算の提出権は村長の専権事項であります。総体的な予算編成に当たり村長の考え方をお尋ねします。

答弁(保健福祉部長) 美浦村地域福祉計画は、24年度事業として、現在策定中です。老人福祉センターの耐震改修と地域活動支援センター「ホープ」拡張改修は、25年度実施事業と考えています。

答弁(総務部長) 行政へのニーズが、年々拡大しており、少子高齢化社会の進行から、扶助費や国民健康保険等への繰出金、公債費等の増加は、財源不足を引き起こし、厳しい対応を迫られています。各課では、

25年度から民間委託となる児童館は、指定管理者による運営業務となります。移行後は、各児童館に館長を配置し、全体経費削減と、開館時間の繰り上げや閉館時間の延長が可能となり、サービスの向上が期待でき

ます。

答弁(経済建設部長) 村3カ年実施計画に基づき、年次計画から村民のニーズを把握の上、制度の改正や新規補助事業等の動静を勘案して、予算の編成を進めています。

答弁(教育次長) 美浦村の教育目標・教育プラン・美浦村生涯学習推進計画に掲げている目標を、確実に推進できるように予算措置を考えています。

子どもたちに直接影響が出るような補助金の削減はないと考えています。

答弁(村長) 各部門から要求された予算については、ワーキングチームの中で検討精査の上、1月中には作成して、議会にお示ししたいと考えております。特に、要望のありました子育て支援、高齢者福祉の充実、弱者対策等については、美浦

村として、先進的に取り組んでいきたいと思えます。

美浦村の指定金融機関について

質問 6月に一般質問をした、指定金融機関について、答弁では輪番制に対して、肯定的な回答でしたが、その後の対応、方策についてお伺いします。

答弁(総務部長) 現在県内では、3つの市が輪番制を採用しています。競争力によるサービスの向上や、引き継ぎ時に、会計事務が正確に履行されているかの検証等メリットが考えられますが、新規事業等に遅れが懸念されることもあることから、これらを検証し、支障なく運用されるのであれば、議会全員協議会等で諮り、実施に向け進めていきたいと考えます。